

台風25号で過去最大級の被害

ただちに外注化撤回を

外注化・要員削減の強行が背景にある

台風25号(9月20日～21日)により
土砂流入・道床流出・倒木などが多発

成田線	香取～水郷間	土砂流入
	布佐～新木間	道床流出
	下総橋～下総豊里間	橋梁設備損傷
総武本線	南酒々井～榎戸間	土砂流入
	物井～佐倉間	線路冠水
	八街～日向間	道床流出
外房線	土気～大網間	倒木
内房線	大貫～佐貫間	土砂流入
	姉ヶ崎～長浦間	土砂流入
久留里線	祇園～上総清川間	土砂流入
	上総松丘～上総亀山間	道床流出

広範囲・長期にわたる運休

路線		運休期間
内房線	千葉～姉ヶ崎間	9/22 まで 2日間
	姉ヶ崎～長浦間	3ヶ月程度の見込み
	長浦～木更津間	10/4 まで 14日間
	木更津～安房鴨川間	9/25 まで 5日間
外房線	千葉～安房鴨川間	9/23 まで 3日間
総武本線	佐倉～榎戸間	9/23 まで 3日間
	榎戸～八街間	9/26 まで 6日間
	八街～成東間	10/18 まで 28日間
	成東～銚子間	9/22 まで 2日間
成田線	成田～木下、新木～我孫子、成田～佐原間	9/22 まで 2日間
	新木～木下間	9/24 まで 4日間
	佐原～銚子間	10/3 まで 13日間
鹿島線	佐原～鹿島神宮間	9/22 まで 2日間
東金線	大網～成東間	9/22 まで 2日間
久留里線	木更津～久留里間	10/2 まで 12日間
	久留里～上総亀山間	再開の見込み立たず

※運転を再開した各線区でも通常ダイヤより本数を減らして運行。

8月の千葉豪雨や9月の台風25号などにより多くの方が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。復旧にあたられた皆さん、大変お疲れ様でした。

全面外注化を進めたJRの責任

この災害でJRでは、特に千葉以東で多くの路線が被害を受け、広範囲かつ長期にわたって運休・減便が続いています。

千葉事業本部はマスコミに「JRになってから最大規模の被災」と説明しました。確かに直接の原因は災害の激甚化にあります。

しかし、現場の必死の努力にもかかわらず復旧が終わらない責任は、徹底的に外注化・要員削減を進めてきたJRにこそあります。

保線等の設備関係は2001年に全面外注化され、保線区・管理所が6分の1にまで削減されました。外注化は多重化し、現場の技術力、技術継承は投げすてられ、徹底した低賃金化・コスト削減で要員確保もできなくなっています。喜勢社長自身が「要員不足」「外注化は破たん」と言わざるを得ない現実です。

外注化は鉄道の安全を破壊します。ただちにすべての外注化を撤回すべきです。